

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 28
2016.3月号



オール日向祭

2月14日(日)に日向市文化交流センターにて「オール日向祭」(主催:地域と市民活動フェスタ実行委員会)が開催されました。

今年のテーマは、「みんなで巨大なひまわりをつくろう」として、来場者の方々にも協力をしていただき、頭に黄色い花飾りを付けて、本市の市花である「ひまわり」を表現しました。また、緑色の花飾りを付けて「日向」の人文字を作ることもできました。

P 2~3 突撃!! 平兵衛さんの会 / ひまわり塾ふりーとーく

○市民まちづくり支援事業活動団体紹介

○視察研修報告

P 4~5 まちづくり協議会・4地区の動き /

国際交流員 Cameron's diary

○新しい地域コミュニティ組織制度事業

○国際交流事業

P 6~7 おひさま通信 / 協働へのアプローチ

○区長インタビュー

○高速道路開通記念賑わい創出事業

P 8 日向市ひまわり基金事業

日向市市民まちづくり支援事業





日向市ひまわり基金事業推進協議会の人財づくり事業である「ひまわり塾」のジャンプコース（2年目）受講生が、1月に視察研修を実施しました。今年度も2班に分かれ、それぞれテーマを設定し、課題解決の手掛かりになる視察先を選んでいきました。この視察から学んだことを踏まえて、日向市がよりよくなるための提言を完成させ、3月8日（火）にひまわり塾修了式で発表します。今回はその視察内容を紹介します。

◆1班

1班は、視察テーマを「PR戦略～日向の魅力を世界に発信～」として、今の日向に足りないものは情報発信であり、特に動画によるPRが必要なのではないかと考え、動画による情報発信に力を入れている団体や、映像製作に秀でた団体を探し、視察研修を行いました。

1日目は、(一財)高知県地産外商公社【東京都中央区】を視察しました。こちらの団体は、女優の広末涼子さんが出演していることでも有名な「高知家」のPV製作を担当しており、映像製作を行う上での心構えや、コンセプトの重要性、ちょっとした裏話など、実体験を基に分かりやすく説明をしていただきました。



2日目は、NPO法人ジャパン・フィルムコミッション【東京都中央区】を視察しました。こちらの団体は、テレビ関係者に対してロケ地の斡旋や撮影許可の調整など、様々なPV製作に携わっている団体です。視察研修は、成功事例だけでなく失敗事例も含めて様々な映像を見せてもらいながら、より多くの人に観てもらえる映像製作のコツなどを丁寧に説明していただきました。業界あるあるも聞くことができ、とても有意義な時間となりました。

今回の視察研修で学んだことを活かしながら、自分たちで日向市のPV映像製作に挑戦したいと思います。そして、3月8日のひまわり塾修了式で披露できればと考えておりますので、みなさん是非ご期待ください！



◆2班

2班は、日向市の課題として、子どもが日向を離れていく現状に着目。日向の魅力を知り、愛着を持つことに繋がるような日向ならではの体験を通して日向を好きになる子どもを育てることをテーマにし、地域資源を活用して様々なプログラムに取り組んでいる団体を視察してきました。

1日目は熊本県菊池市の「きくちふるさと水源交流館」を視察しました。地域住民が特技を活かして体験指導をしている事業や、自然豊かな土地柄を活かした農業体験、食の学習など、熱い想いととも



1日目：事務局長より話を伺う

様々な取組みの話や、話を伺うことができました。

2日目は福岡県筑後地域の12市町で、それぞれの地域の個性を活かして作られた地域体験プログラム「ちくご子どもキャンパス」の体験プログラム実施団体の一つ、福岡県八女市星野村の「自然体験クラブ Hoshino Nature's Way」を視察。持続可能な活動をするためのプログラム構成や資金面の考え方、PR方法などの話を伺い、実践的なことを学ぶことができました。

性を活かして作られた地域体験プログラム「ちくご子どもキャンパス」の体験プログラム実施団体の一つ、福岡県八女市星野村の「自然体験クラブ Hoshino Nature's Way」を視察。持続可能な活動をするためのプログラム構成や資金面の考え方、PR方法などの話を伺い、実践的なことを学ぶことができました。

どちらの団体も、自分たちだけで動くのではなく、地域の方や学生ボランティアに協力してもらいながら運営されており、人財の重要性を改めて感じました。また、地域の特性を的確に捉えて体験プログラムとして提供しており、そういったことなどを参考にしながら、修了式では日向版体験プログラムについて発表していく予定です。

2日目は、福岡県筑後地域の12市町で、それぞれの地域の個性を活かして作られた地域体験プログラム「ちくご子どもキャンパス」の体験プログラム実施団体の一つ、福岡県八女市星野村の「自然体験クラブ Hoshino Nature's Way」を視察。持続可能な活動をするためのプログラム構成や資金面の考え方、PR方法などの話を伺い、実践的なことを学ぶことができました。



2日目：実際のプログラムも見学

突撃!!

平兵衛さんの会



日向市を代表する観光地である伊勢ヶ浜大御神社の門前に、中古コンテナを利用した「観光ガイド案内所」と「お土産販売所」を開設した平兵衛さんの会に突撃インタビューをしてきました。案内所や販売所の設置に至った経緯やその取り組みを今回初公開!!あなたもきっと平兵衛さんの会が好きになる(´▽´)

◆平兵衛さんの会の名前の由来は？

日向の特産物である「へべす」は爽やかな風味で、料理や焼酎の味を引き立てる役割があります。「へべす」は主役ではなく、脇役でありながら、主役の魅力を十分に引き出すのです。それは我々ガイドにも当てはまります。主役は旅行を楽しむ観光客であり、われわれガイドは脇役に徹し、観光客に日向市を十分に満喫してもらいたいという思いから命名しました。



◆どうして案内所と販売所を開設したの？



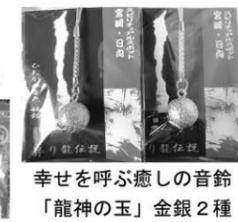
日向インターチェンジから近い観光地の御神社前に日向市の観光拠点を作ることで、訪れた方に歴史や文化のガイドを行い、より充実した観光を楽しんでいただくためと、また、以前からお土産を買うところが欲しいという要望も多くあったため販売所とボランティアガイドの詰め所を併せて開設しました。

◆開設してみた感想は？

観光ガイドの拠点をすることが念願であり、開設できたことをとてもうれしく思っています。また、地域住民の方が散歩の途中に寄ってくださるので、ふれあいもあり楽しく運営しています。今回インタビューに答えてくれたのは左から一政さん、安田さん、大坪さんです。対応がとても丁寧で買い物をしてくださったお客様の車が見えなくなるまで、手を振る様子がとても印象的でした。お見事!!



◆どんなものを売っているの？



◆ぜひ案内したい日向のスポットは？

歴史的文化財が好きな方は、神武天皇が日向国から東征に出発した「お船出」伝説が残り、江戸時代の面影が残る美々津の街並みを!!パワースポットをお求めの方は、ラグビー日本代表の強さを引き出したとされる大御神社をお勧めしています。



案内にかかる時間は、美々津が40分程度、大御神社が30分程度です。この他にも、柱状節理の絶壁を望む馬ヶ背や、海と岩場が十字架の形を織りなすロマンチックな願いが叶うクルスの海、殺害された幕末の志士の墓が残る黒田の家臣なども案内可能です。日向市は見どころ満載なところがたくさんありますので、是非一度見ていただきたいです。

◆お問合せ先

「日向市歴史観光ボランティアガイド平兵衛さんの会事務局」
〒883-0044 日向市上町1番19号(社)日向市観光協会内
TEL 0982-55-0235 FAX 0982-55-1739

「大御神社のように海に背を向けて建つ神社は珍しい」などの、ガイドならではの豆知識を聴くことができます。ガイド料は無料ですが、ガイドの交通費として1,000円必要です。誰かに話したくなる豆知識を一度お試しあれ。

◆細島地区の取り組み

【富島中学校あいさつ運動】

12月22日(火)に富島中学校校門前で朝のあいさつ運動を行いました。その日は中学校の終業式で2学期を終えた富中生の清々しい顔と、寒空に響く爽やかな「おはようございます」に元気をもらいました。今後このような活動を続けていきます。



【新春福餅つき・福餅まき大会】

今年度めでたく成人を迎えられる新成人の方と、還暦を迎えられる方々の人生の節目をお祝いするために、1月10日(日)に海の駅ほそしまで新春福餅まき大会を開催しました。前日の9日(土)に細島地区住民の方や協議会員で餅つきを行い、成人式当日は式を終え細島に戻ってきた新成人と還暦をむかえられた方々で盛大に餅まきを行いました。細島地区内外から集まった多くの方と一緒に成人・還暦をお祝いするとともに、参加者の今年1年間の無病息災、細島地区の更なる発展を願う良い1日となりました。



◆平岩地区の取り組み

【餅つきで師走を感じる】

12月20日(日)に南日向コミュニティセンター前広場で「第28回平岩ふれあい朝市」と「農協体験餅つき」が行われました。12月ということもあり、焼き芋、たこ焼きなどの温かいものから、もち米やしめ縄など正月用品が出店されました。



軽トラの上にも商品がいっぱい



元気なかけ声で餅をつく様子

11月に子どもたちが収穫したもち米は4キロ千円で販売すると、10分もせずに完売するほど好評。餅つき体験は、子どもから大人までたくさん参加がありました。つきたての餅は無料振るまわれ、きな粉や海苔、大根おろしなど、来場客に大好評でした。

【たこあげで正月を感じる】

1月9日(土)にお倉ヶ浜海水浴場で「第8回新春たこあげ大会」が開催されました。天気は青空、海からの風もあり、絶好のたこあげ日和でした。用意した豚汁の振るまい100食はおかわりが出るほど好評で大会は大成功でした。興味がある方は来年の参加をお待ちしております。



◆塩見地区の取り組み

【例大祭に出店！】

塩見地区の例大祭が12月13日(日)に中村の栗尾神社で、19日(土)には奥野の八坂神社でそれぞれ開催されました。栗尾神社では、今年も神社下の道路を通行止めにして、協議会が綿菓子やぜんざい、焼きいも、フライドポテトなどの販売を行い、多くの方に立ち寄っていただけました。また、境内では浦安の舞の奉納やひよつとこ踊り、入役会が準備したもちまきで盛り上がりました。



出店テント前のにぎわう様子。地区の子どもたちもボランティアで活躍してくれました。

【城山を清掃しました】

12月27日(日)に27年最後の城山清掃を行いました。草刈り機での作業は2時間ほどで終了。新年を迎えるにあたって見晴らしがよくなり、元旦には、城山山頂から初日の出を拝むことが出来ました。



◆東郷地区の取り組み

【健康ミニバレーボール大会】

1月24日(日)に東郷体育館で「健康ミニバレーボール大会」が開催されました。東郷地区でミニバレーボール大会が開催されるのは実に10年ぶりです。大会には、10地区より15チーム総勢100名の住民が参加しました。当日はとても寒かったのですが、どのチームも明るく楽しくハツラツとプレーをしていました。



珍プレー好プレーあり！



まずは念入りに体操を♪

結果は、第1コート優勝が迫野内、第2コート優勝が鶴野内、第3コート優勝が越表Bでした。参加者からは、「とても楽しかった」、「また来年も是非開催してほしい」、など、ありがたい言葉を沢山いただきました。大会の目的である「健康づくり」と「親睦を深める」を十分に達成することができた良い大会となりました。

BBQ&GAME DE国際交流

10月31日(土)に日向サンパーク キャンプ場にて、国際交流事業「BBQ & GAME DE 国際交流」(主催：日向市国際交流まちづくり推進協議会)を開催しました。

このイベントは、国際交流員キャメロンが本市に来て初めて企画をしたもので、市民の皆さんに自分のことを知ってもらうことを目的に開催しました。



イベントは、初めに参加者同士による自己紹介ゲームを行い、緊張をほぐしました。その後、メインのBBQを楽しみました。今回はアメリカンスタイルをテーマにしていたので、ハンバーガーを網の上で焼き、ハンバーガーを作ったり、長いウインナーを使ってホットドッグも作りました。デザートは、リンゴを網の上で焼き、砂糖やシナモンをお好みで振り掛けて食べました。食事の後は、アメリカで楽しまれていた「Guess Who?」ゲームを行い、大いに盛り上がりました。参加者の皆さんは、普段経験の出来ないことを沢山することができ、とても楽しそうにしていました。



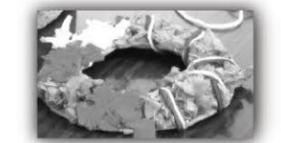
キャメロンと クリスマスクラフト

12月12日(土)に日向市中央公民館にて、国際交流事業「キャメロンとクリスマスクラフト」(主催：日向市国際交流まちづくり推進協議会)を開催しました。

このイベントは、クリスマスの季節にアメリカの各家庭で楽しんでいるクラフト作りを、市民の皆さんにも体験してもらうことを目的に開催しました。



初めに、キャメロンからアメリカの一般的なクリスマスの過ごし方について話がありました。その後、親子でクラフト作り挑戦してもらいました。色模造紙でツリーを作り、ビーズやボタン等の小物類で飾りつけをしたり、フラワーペーパーを使って、好きなデザインのリース作りをしました。その他にも、アメリカのお菓子や、キャメロン特製の手作りジュースも用意しました。参加者の皆さんは、親子で協力しながら、楽しく素敵な作品を作っていました。





バッティングの指導をする青木選手



青木選手との真剣勝負に挑む小学生

平成27年12月28日(月)にサンドーム日向でプロ野球宮崎県人会による少年野球教室が開催されました。アメリカ大リーグで活躍する日向市出身の青木宜親選手や北海道日本ハムファイターズの黒木知宏一軍投手コーチをはじめとする総勢10名のプロ野球現役・OB選手が、ピッチング、バッティング、守備の3部門に分かれ、市内内外から集まった約250名の小学生に2時間程度、直接指導を行いました。この貴重な機会に、参加した小学生は目を輝かせながら、食い入るように話を聞き、休憩中も選手に駆け寄って、積極的に質問をする姿も見ら



守備の指導をする黒木投手コーチ



守備の指導をする黒木投手コーチ

プロ野球宮崎県人会少年野球教室

れました。指導は現役プロ野球選手対小学生の真剣勝負を行い、一球一球に会場がどよめく緊張した雰囲気の中、青木選手を打ち取る小学生もいました。黒木投手コーチは、「今日習ったことを毎日忘れずに取り組み、プロ野球選手になれるように頑張ってください」と小学生にエールを送り、参加した小学生からは「とても勉強になった」、「青木選手のような選手になりたい」、「頑張ってプロ野球選手になる」といった感想がありました。当日はスポーツ店や飲食店も多数出店しており、参加した小学生や保護者、ファンなどでとても賑わっていました。

このコーナーは、日向市内の各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力をみなさんにお伝えするコーナーです。第2弾は、日知屋本郷地区の江良区、東郷地区の坪谷区の区長さんに各区の取り組みや見どころなどを教えていただきました。ご協力いただいた三浦区長、岩下区長ありがとうございました！

江良区 区長 三浦雅典さん



Q. 江良区はどんなところですか？

―(区長) 日知屋小学校、富島中学校からすぐ近くに位置しており、通学には非常に便利な位置にあります。江良区の中心にある江良公園は、市内の街区公園で一番広い公園で、子どもたちは毎日体を動かして元気に遊び、高齢者はグラウンドゴルフ等をして楽しんでいきます。また、4月の桜の時期になると公園には桜が咲き誇り、他の地区からも花見にいらっしやる方がいます。



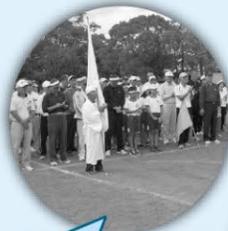
江良区では、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。

―(区長) 江良区は地区住民との触れ合いを重視して活動を行っており、毎月一回の江良公園の清掃は区民総出で行っています。その他にも育成会が中心になって、親子で参加する清掃活動等も定期的に行っています。また、古くからの行事を大切に

する地区でもあります。神社のない江良区はもとも祭りがありませんが、当時の子ども会が手作りして神輿を作り、自分たちで祭りを作り上げました。他にも盆踊りや運動会等があります。今でも変わらず、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。



江良区では、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。



江良区では、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。

Q. 江良区の取り組みを教えてください。

―(区長) 江良区は地区住民との触れ合いを重視して活動を行っており、毎月一回の江良公園の清掃は区民総出で行っています。その他にも育成会が中心になって、親子で参加する清掃活動等も定期的に行っています。また、古くからの行事を大切に

坪谷区 区長 岩下富男さん



Q. 坪谷区はどんなところですか？

―(区長) 「道の駅とうごう」から美郷町南郷区方面に向けて約10km程行った、若山牧水の生家があらるところです。春は牧水公園でのつつじ祭りがあつたり、桜も咲いたり、個人でも花を育てているところが多く、山もあり川もありそして花もあるとても美しいところです。夏だと河川プールが開かれ、多くの人が賑わいます。



坪谷区では、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。

―(区長) 坪谷区は8つの地区があり、それぞれの地区でお地蔵さん祭りなどしています。盆踊りや秋祭り、子ども芸能など多くの保存会もあり、祭りの時には披露されています。仲深区と合同での歩こう会もあつたりと、一年中いろいろな行事がありとても楽しいです。

―(区長) 特に入力しているのがサロンです。週2回坪谷公民館に集まって、自発的な活動を行っています。

Q. 坪谷区の取り組みを教えてください。

―(区長) 特に入力しているのがサロンです。週2回坪谷公民館に集まって、自発的な活動を行っています。



坪谷区では、子どもから高齢者まで協力し合い、住民が一体となって作り上げています。

地域力活用高速道路開通記念賑わい創出事業 新たな企画提案事業 大募集！

市民活動団体の皆様が、主体的に企画提案し、実施する新規事業に対して助成を行います。

◆応募できる団体

市内に活動拠点を有する非営利活動団体(NPO法人、市民活動団体、ボランティアグループ、自治会など)

◆募集要件

・高速道路開通を盛り上げ、市内の賑わいを創出するイベントなどを新規に行う事業

◆補助率・補助限度額

補助率：補助対象経費の4/5以内
補助限度額：250万円

◆募集期間

随時募集中(事業実施日の概ね1か月前まで)

※上記の「プロ野球宮崎県人会少年野球教室」は本事業の助成を受けていません。詳しくはお問い合わせいただくか、日向市のHPをご覧ください。

お問合せ&お申し込み先
日向市地域コミュニティ課
TEL: 52-2111(内線6254)
FAX: 52-0018



↑平成27年12月28日に開催された「プロ野球宮崎県人会少年野球教室」



↑平成27年5月3日~4日に開催された「カッキある細島魅力発信フェスティバル」

編集後記

▼5ページの国際交流記事で紹介しましたキャメロン企画のイベントは、私もスタッフとして参加しました。アメリカのスタイルのBBQが、実は日本と異なっていることなど、新しい発見が毎回あります。これからの企画をみなさんも楽しみにしてください。

日向市ひまわり基金事業市民活動助成事業のご案内



市民活動助成事業

公益的な市民活動団体が取り組む、まちづくり（環境美化、防犯、住民間交流など）、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して助成します。

助成の額は、事業を実施するために必要な助成対象費用の4分の3以内とし、審査の結果、1事業あたり15万円を限度として交付します。

申請の要件は、

- ①公益性・公開性のある事業であること。
- ②市内で実施されること。
- ③市から同様の助成・補助を受けていないこと。
- ④1団体、当該年度1回限り。

となっています。なお、事業実施1か月前までに申請を行ってください。

事業や募集に関して不明な点、ご相談などございましたら、お気軽に市役所地域コミュニティ課までお問い合わせください。

[問合せ先]

日向市役所地域コミュニティ課(教育別館1階)
TEL 0982-52-2111 (内線 6251)

★事業活用団体紹介

■ひゅうがイースターフェスティバル実行委員会

欧米ではポピュラーなイベントである「イースター」。このイースターイベントを通して子どもたちに異文化体験をしてもらおうと、「ひゅうがイースターフェスティバル」を開催しています。

イベントでは、イースターエッグ探しや、卵転がし競争などイースターの伝統的な行事のほか、外国の方々も参加する「グローバルこどもカフェ」や「英語で遊ぼう」といったコーナーもあります。※一部コーナーは要予約



← 前回開催時の様子

開催
予告

第4回イースターフェスティバル

日時：平成28年3月13日(日)

13時～16時

場所：日向市駅前交流広場

日向市市民まちづくり支援事業 平成28年度上半期の企画提案事業が決定

日向市市民まちづくり支援事業とは

元気で活力ある協働のまちづくりを推進することを目的として、市民自らの企画提案により実施する公益性の高い事業に補助金を交付しています。

●平成28年度上半期企画提案団体一覧

団体名	事業名	事業内容
財光寺農業小学校	さあ、広げよう 農業小学校	小学5、6年生を参加対象として農業体験を通して、食と農と命の関わりに子ども達の視点で気付かせる。
大王谷農業小学校	さあ、飛躍しよう 大王谷農業小学校	小学児童に水田と畑で稲作と野菜作りの農業体験をさせる。収穫の喜びを味わい、感想を述べ合う機会を作る。
寺迫ひまわりコミュニティ プロジェクト実行委員会	寺迫ひまわりコミュニティ プロジェクト	休耕地を活用し、ひまわりの栽培を行う。また、ひまわりの種からひまわり油を作成し、各種イベント等で販売する。
活の駅 はまゆう運営会	地域の特色を生かした 元気なまち金ヶ浜創生事業	安納芋で作る冷凍焼きいもなど地域ブランド品の開発を行う。休耕地で子ども達と安納芋作りを行い、世代間交流を図る。
日向木挽唄全国大会 実行委員会	第30回日向木挽唄全国大会	日向木挽唄全国大会を2日間にわたり実施。日向木挽唄の伝承・保存及び普及に努める。
「こども落語全国大会」 実行委員会	～お笑い発祥の地・宮崎～ 第八回ひまわりの国 こども落語全国大会	小学生～高校生を対象とした子ども落語の全国大会を2日間にわたり実施する。また、大会前にはフレイブとしてミニ落語会、落語体験教室などを開き落語愛好者の拡大を図る。
日向ひまわり九州少年親善 ソフトボール大会実行委員会	第9回日向ひまわり九州少年 親善ソフトボール大会	九州各県代表のスポーツチームと大会を通して、少年団相互の親睦と友情を深め健全育成を目指す。女子の大会を2日間に実施する。
日向ひまわり国際文化 交流実行委員会	台湾・日向国際文化交流演奏会	台湾合唱団と日向市文化活動団体の交流演奏を行い、台湾と日向の交流を発展し、諸外国に日向市をアピールする場となる
日向ほっこ実行委員会	第7回うめもんフェスタ	日向市駅前にて「はまぐり」「地鶏」「へべす」の食材を使った料理を提供するグルメフェスタを実施。
9団体	9事業	

公開プレゼンテーション傍聴案内

企画提案が書類審査を通過した事業は、審査員の前でプレゼンテーションを行います。様々な団体が工夫を凝らし、それぞれの事業をアピールします。

平成28年度企画提案事業のプレゼンテーションを傍聴できますので、興味がある方、これから事業を展開しようとお考えの方、お気軽にお越しください。

日時：平成28年4月3日 午前9時30分から

会場：日向市役所本庁2階 委員会室

下の写真は平成27年度の様子。



←こども落語 ↓十五夜祭
✓まちなかハロウィン



日向市 協働のまちづくり

検索

発行/平成28年3月1日

日向市 総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL 52-2111(内線6251) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 3月号